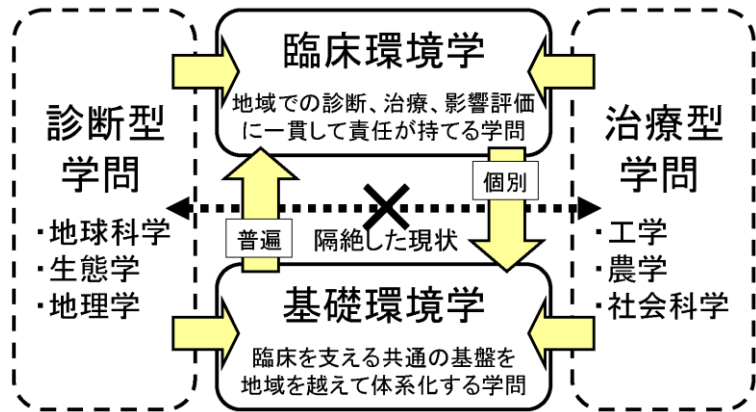


	(< >) HIRANO SHINICHI				
	< >				
	From Earth System Science to Basic and Clinical Environmental Studies				
	< > () () () () ()				

21COE (21COE)					
23					
					0
< >	()		()		
() YASUNARI TETSUZO					
KANZAWA HIROSHI IRYU YASUFUMI WALLIS SIMON WANABE SEICHIRO OHTA TAKESHI MATSUMI YUTAKA			Ph. D.		
NAKATSUKA TAKESHI TAKENAKA CHISATO YAMAGUCHI YASUSHI FUJITA KOJI ISHIZAKA JOJI	(H.21.4.1)		Ph. D.		
HAYASHI YOSHITSUGU SHIMIZU HIROYUKI MIZUTANI NORIMI OKAMOTO KOHEI FUKUSHIMA KAZUHIKO					
IMURA HIDEFUMI TAKEUCHI TSUNEO TAKANO MASAO KATO HIROKAZU MARUYAMA IPPEI NAKANO MAKIKO					



NPO

On-site Research Training: ORT
NPO

21 COE

(SELIS-COE)

1

2)

On-site Research Training: ORT
ORT

3

Web

4

PD

5

20

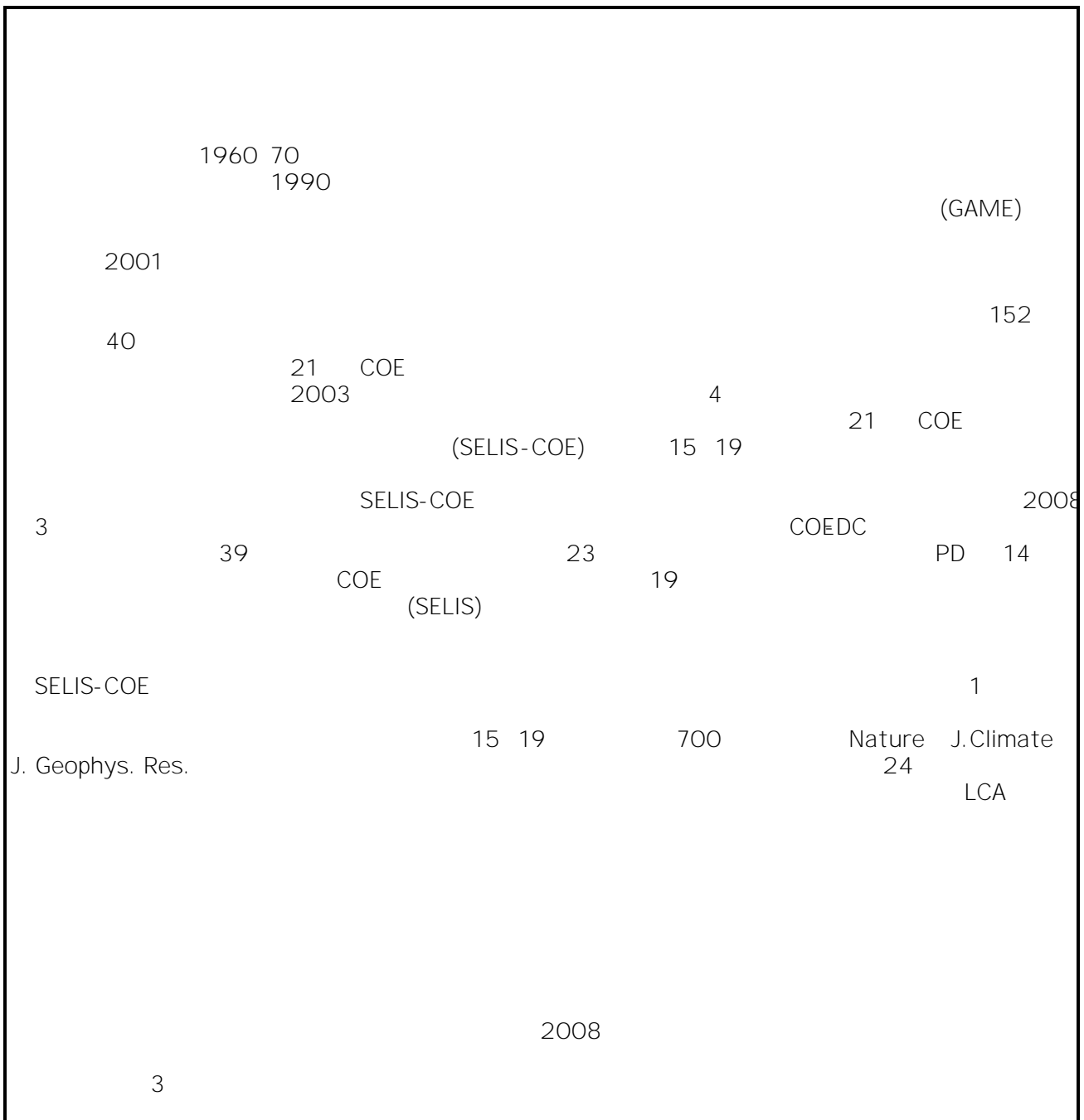
ORT

SELIS-COE

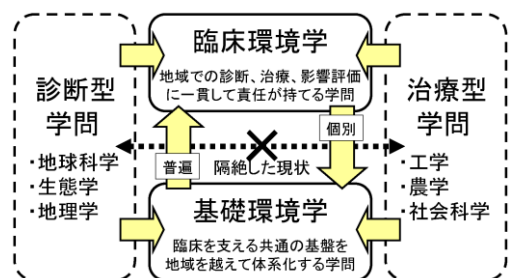
19

6

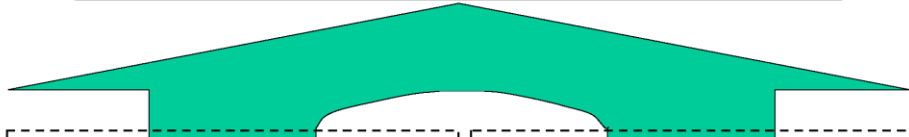
ORT



-1



「地球学から基礎・臨床環境学への展開」拠点



IPCC

WG

21世紀COEプログラム(2003—2008)
「太陽・地球・生命圏相互作用系の変動学」:
最高評価 ⇒ 2008~ 地球生命圏研究機構

名古屋大学国際環境人材育成拠点形成
(2008—2013)・(科学技術振興調整費)
⇒ 2008~ 国際環境人材育成センター

WG

1996—2005
アジアモンスーンエネルギー・水循環研究観測計画
(GAME)/世界気候研究計画(WCRP) *1

2008—2011
低炭素型都市づくり施策の効果とその評価に関する研究 *2

1996—2004
北太平洋プロセス研究(NPPS)
(地球圏-生物圏国際協同研究計画/全球海洋フラックス合同研究計画(IGBP/JGOFS)) *1

2007—2010
持続可能な国土・都市構造への転換戦略に関する研究 *2

1995—1998
全地球史解読(科研費・重点領域研究)

2006—2009
地域特性にもとづく熱帯アジアの臨海域における自然災害軽減に関わる研究連携(アジア・アフリカ学術基盤形成事業)

シームレスアースの提唱(1960年代)

2006—2008
社会環境学教育カリキュラムの構築
(「魅力ある大学院教育」イニシアティブ)

診断型学問

治療型学問

*1: 文部省特別事業費、科研費特定研究

*2: 環境省地球環境研究総合推進費

SELIS-COE

ORT

2001

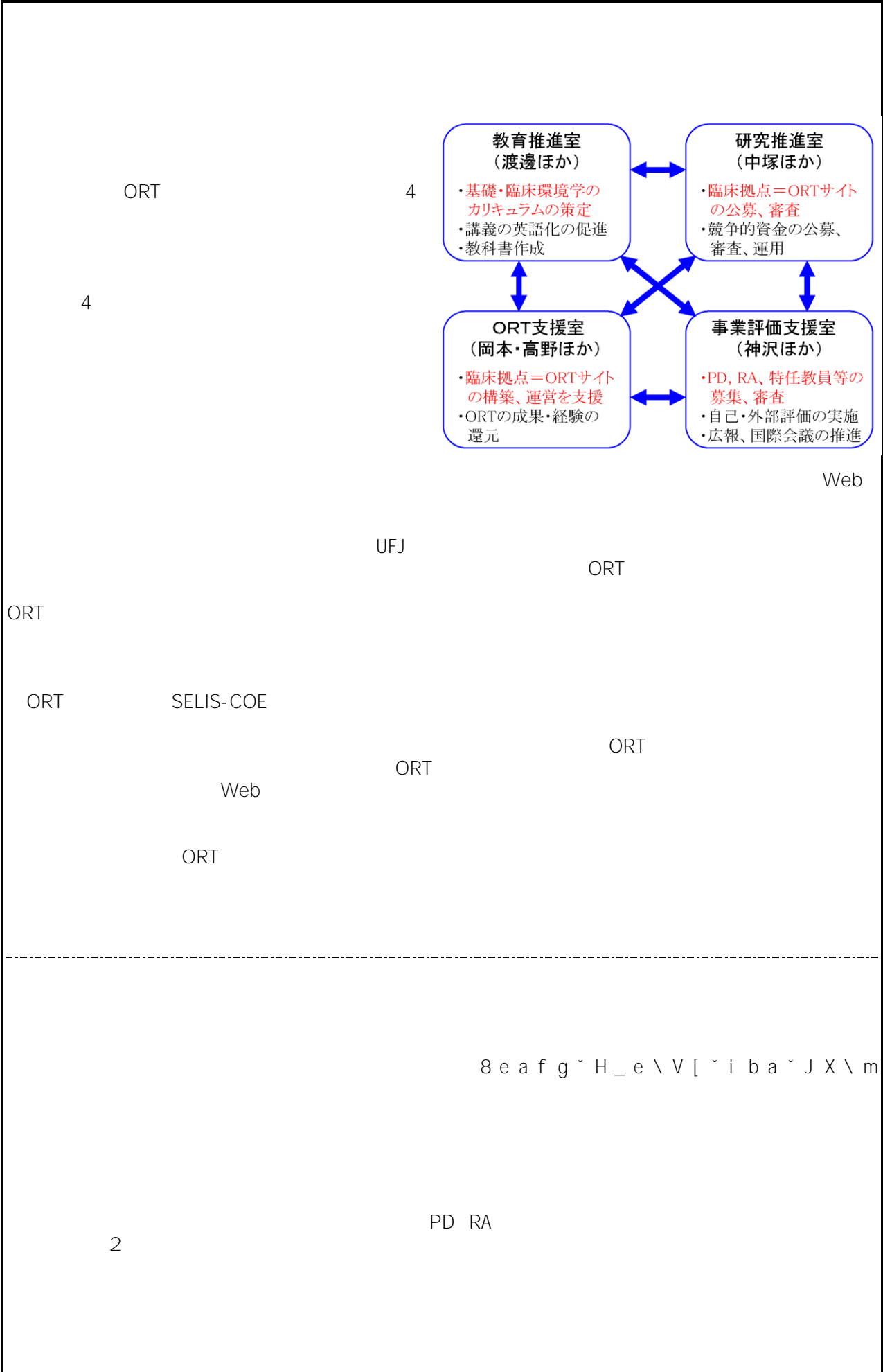
Alterra

COE

20

Web

21



地球学から基礎・臨床環境学への展開 拠点形成

名古屋大学総長
教育研究プロジェクトチーム
グローバル高等教育研究機構

本拠点：
環境学研究科＋生命農学研究科
(生物圏資源学専攻)

■国際アドバイザーボード
委員長: Ernst Ulrich von Weizsäcker (元UCSB教授)
(Factor4著者、元ドイツ国会議員・環境委員長)
委員: Hans-Peter Dürr (マックスプランク物理学研究所名誉理事)
(The Potsdam Manifesto 2005)
委員: 真鍋淑郎 (プリンストン大学客員教授)
(大気海洋結合大循環モデル、ブループラネット賞受賞)

拠点リーダー: 安成哲三、副拠点リーダー: 林 良嗣
拠点運営会議: 全体を統括

評価システム

■環境学研究科
外部評価委員会
■臨床・基礎グループ
自己評価システム

グローバルCOE事務局

研究推進室
・ORTの公募・審査
・若手連携推進
・国際共同研究推進

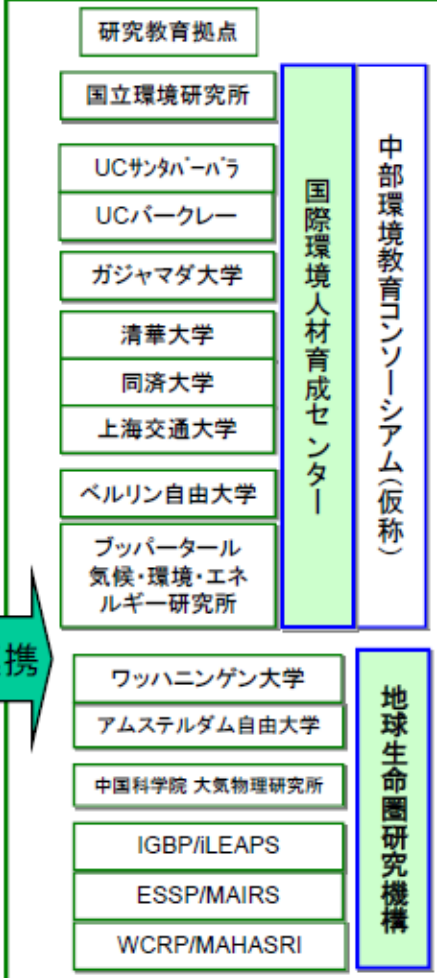
教育推進室
・カリキュラム
・英語教育
・教科書作成

ORT支援室
・ORT拠点の構築・運営の支援
・ナレッジベース作成
・コンソーシアムとの連携

事業評価支援室
・評価業務・広報・外国人支援
・国際会議運営・キャリアパス支援

	基礎環境学の教育研究	臨床環境学の教育研究	国際ORT拠点構築	国内ORT拠点構築	国際連携強化	研究員・RA採用	国際会議企画
環境診断 (地球生命圏)	神沢 博	○				○	●
	井籠 康文	○		○			
	ウリス サイモン		○			○	
	渡邊 誠一郎	●					○
環境診断 (地球生命圏と人間社会の関係)	太田 岳史		○	○	○		○
	松見 豊	○	○				
	中塚 武	○	●		○		
	竹中 千里		○	○			○
	山口 靖	○					
	藤田 耕史		○	○		○	
環境治療 (地球生命圏と人間社会の関係)	石坂 丞二	○	○	○			
	林 良嗣		○	○		●	○
	清水 裕之	○			○		
	水谷 法善	○			○		
環境治療 (人間社会)	岡本 耕平		○	●		○	○
	福島 和彦	○	○	○			
	井村 秀文		○	○		○	○
	竹内 恒夫	○				○	○
	高野 雅夫		○		●		
	加藤 博和		○		○		
	丸山 一平	○					○
中野 牧子	○	○		○		○	

現時点での役割分担
●印は、取りまとめ責任者



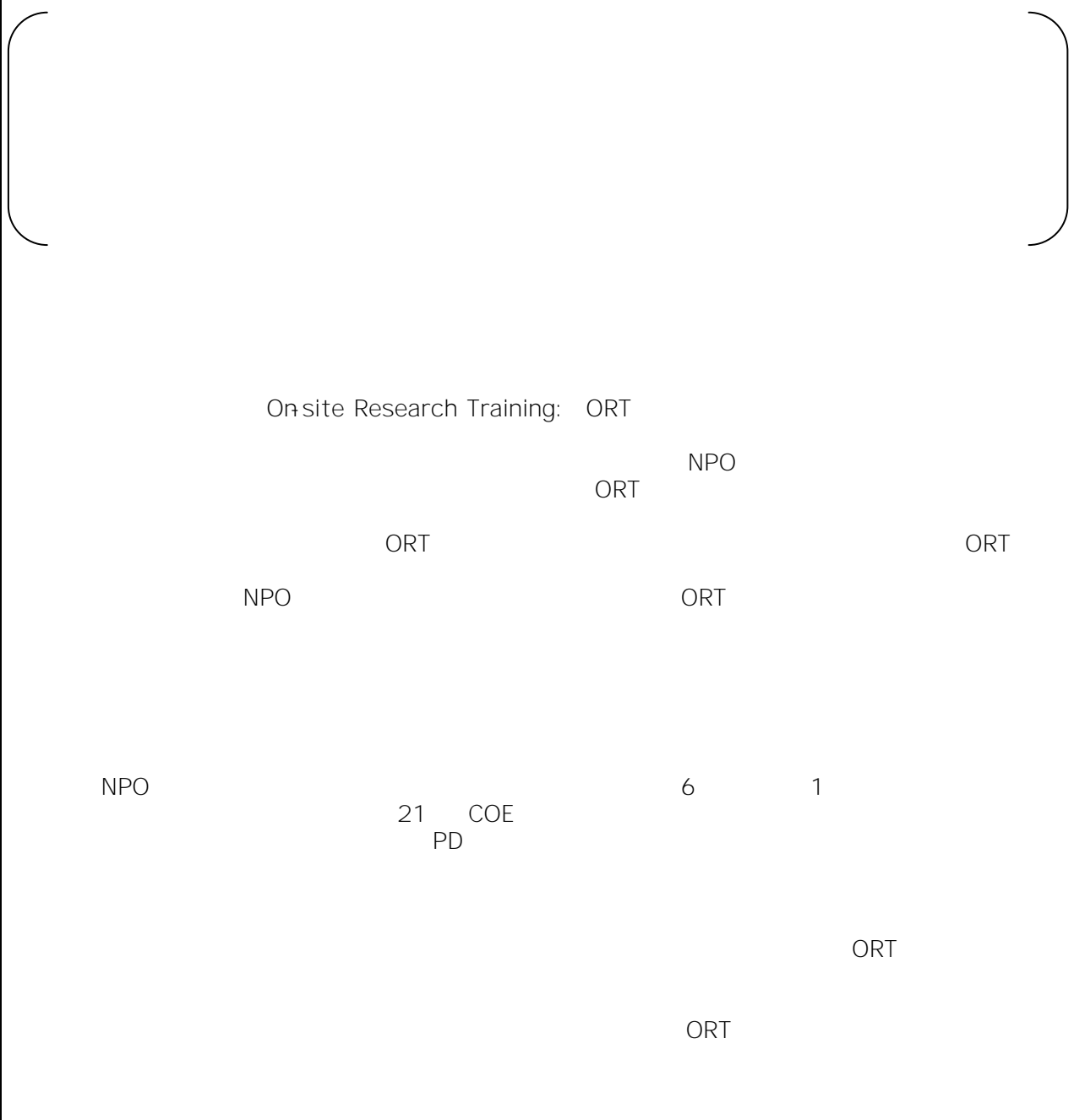
連携

研究フィールド 伊勢湾流域、北東・東アジア、東南・南アジアなど

学内協力部局・機構: 工学研究科(社会基盤工学専攻)、太陽地球環境研究所
地球水循環研究センター、地球生命圏研究機構 (SELIS)

環境学 研究科	地球環境科学専攻	惑星としての地球とその表層の大気・水圏の性状、 動態、変遷を探究
	都市環境学専攻	都市の社会基盤、建築物などの人工環境を創造し、 水・緑・土壌などの自然環境との調和を図る
	社会環境学専攻	人間の行動とそれを取り巻く社会環境との関連を考 究し、環境政策を提言
生命農学 研究科	生物圏資源学専攻	資源生物の生産機能、生産物の利用及び生命共生の 環境の解明
	本拠点のアドミッション・ポリシー： 地球とその表層の大気・水圏の性状や生命共生の環境を理解し、環境問題の現場 において、人間活動と自然環境との調和を可能とするビジョン・技術・政策を提案し、 実現することができる専門力・俯瞰力・国際力・交渉力を兼ね備えた人材を育成	

NPO NGO



2

ORT

COE

4

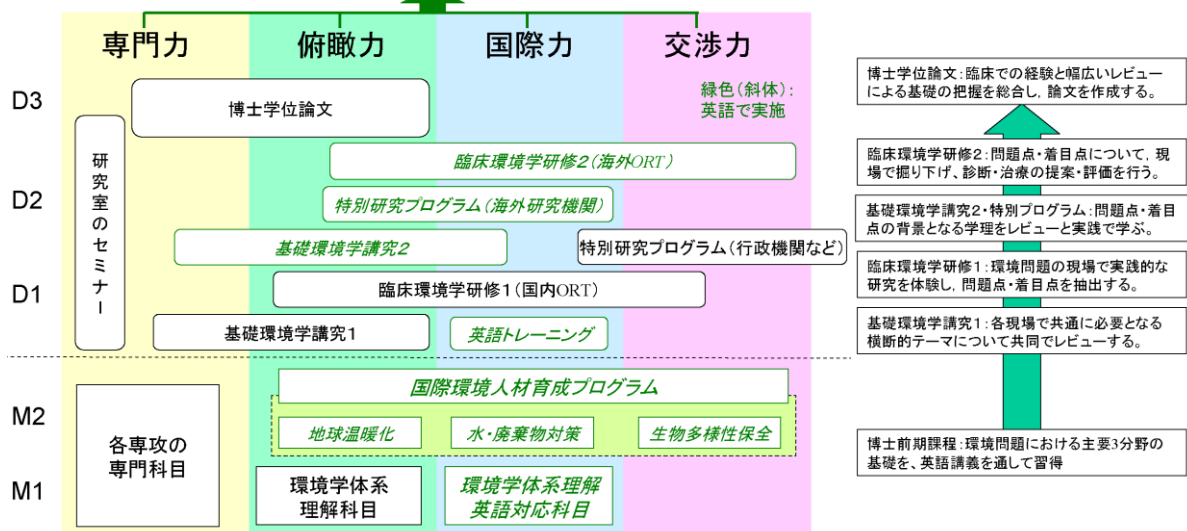
(ORT)1 2	2 × 2	4	2	ORT ORT
1 2	2 × 2			
	2	NPO		1
	2			

2

10

Certificate

環境問題の基礎研究者から臨床エキスパートまで幅広い人材



4

(5-1)		4		2	2
		4	12		
(5-2)		()2	2	
	2		2	4	12
(5-3)		4		2	2
		4	12		
(5-4)		4		2	4
	()2	12		

3

ORT

ORT

ORT			

		LCA			

21 COE

(SELIS-COE) H1519

SELIS-COE

COEDC

PD

PD
3,330

5

PD COEDC

18

PD
GLIMS

8

20 24

18 19

NPO

Ernst Ulrich von Weizsäcker
Hans Peter Dürr (

)

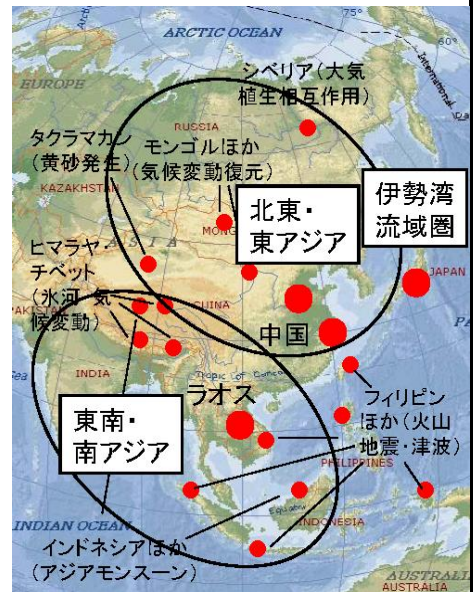
NHK

/ /

3

ORT

NPO



/ /

ORT

5- (6-1) P16

NPO

21 COE

SELIS-COE

200

5

2005

2007

2007

SELIS-COE

:29.9

7.2

5

45
8.2)

5

(

Nature

150

LCA

(Comparative Study on Urban Transport and the Environment

2005

CUTE
3

SELIS-COE

ESSP

Monsoon Asia Integrated Regional Studies (MAIRS)

6